大きくなるということは

１年４組担任のＭです。学年通信で「大きくなるということは」という記事はみなさん読みましたか。みなさんは、「大きくなるということは」どんなことが頭に浮かびましたか。中学生のころの私は、小学生から中学生になってまず一番に、公共交通機関の料金が大人料金に変化したことに、自分が大きくなったと感じました。そこから、16年の時間が経って改めて、「大きくなるということは」について考えるといろいろ浮かびました。みなさんも歳を重ねるごとに気づくでしょう。ですが、その中で私が一つ紹介すると、「他人を気遣う心が強くなる」ことが「大きくなるということ」だと私は考えます。協力は掛け算という言葉があります。一人ではできない作業や困難な壁が立ちふさがったりしたとき、みんなで立ち向かえば、何倍、何百倍、何千倍の力となり解決することができるでしょう。そのためには、他人を気遣う心が協力する力を強くすると思います。その他人を気遣う心を育てるために、少しずつでかまわないので、少し周りを見て、困っている人を見かけたら声をかけてみたりしてみてください。この行動を意識することで、自分に困ったことが起こったら、手を差しのべてくれる人がいるでしょう。その助け合いは、一人では解決することができない困難な壁をのりこえるための協力する力となると考えます。なので、「大きくなるということ」その一つとして、「他人を気遣う心が強くなる」ことがだと私は思います。